

ISO/TS 21569-7 : 2022

Molecular biomarker analysis – Methods of analysis for the detection of genetically modified organisms and derived products – Part 7: Real-time PCR methods for the detection of CaMV and Agrobacterium Ti plasmid derived DNA sequences

分子生物指標分析-遺伝子組換え体と派生製品の探知のための分析法-第7部：CaMVとアグロバクテリウム属Tiプラスミド由来のDNA配列のリアルタイムPCR検査手法

1. 規格の概要

本技術仕様書(TS)は、この文書は、多様な遺伝子組換え成分の存在に関する GMO 分析を、より効率的に実施するのに役立つ、妥当性確認された各種方法を記述するものである。これらの方法は、カリフラワー・モザイク・ウイルス (CaMV) およびアグロバクテリウム属 Ti プラスミド (nos 遺伝子) のそれぞれについてその存在に特徴的な遺伝子要素をターゲットとしており、それらの因子による汚染の可能性を明らかにすることが可能である。

2. 検討状況

2021 年 12 月に新業務項目提案が承認され、2022 年 12 月に初版が発行された。

3. 規格の構成 (仮訳)

まえがき

1 適用範囲

2 引用文書

3 用語及び定義

4 原則

5 試薬及び材料

5.1 一般

5.2 PCR試薬

6 装置

7 手順

7.1 試薬/サンプルの用意

7.2 DNA抽出液の用意

7.3 PCRのセットアップ

7.4 温度-時間プログラム

8 許容/拒否の基準

8.1 一般

8.2 nosの識別

8.3 CaMV ORF Vの識別

9 検証ステータスとパフォーマンスの基準

9.1 特異性

9.2 感度

9.3 ロバストネス再現性

9.4 室間共同試験

10 実験結果

参考文献